

紫雲英

第75回 中部日本高等学校演劇大会 12月23日(金) 1校目

岐阜各務野高等学校「じゃがいもかあさん」作:土田 峰人

○あらすじ

第二次世界大戦中、地下の劇場に身を寄せるユダヤ人とポーランドの人々。ドイツによるポーランド占領中であり、ユダヤ人は迫害され、彼らをかまう者も処罰の対象になるという絶望的な状況のなか、アニーカの作る物語が彼らの唯一の救いであった。互いを傷つけあう人々は、アニーカの紡ぐ物語から何を感じ、どう行動するのか。そして彼らを待っている結末は、、、。

○楽屋インタビュー

Q1 演出するにあたって一番こだわったシーンはどこですか？

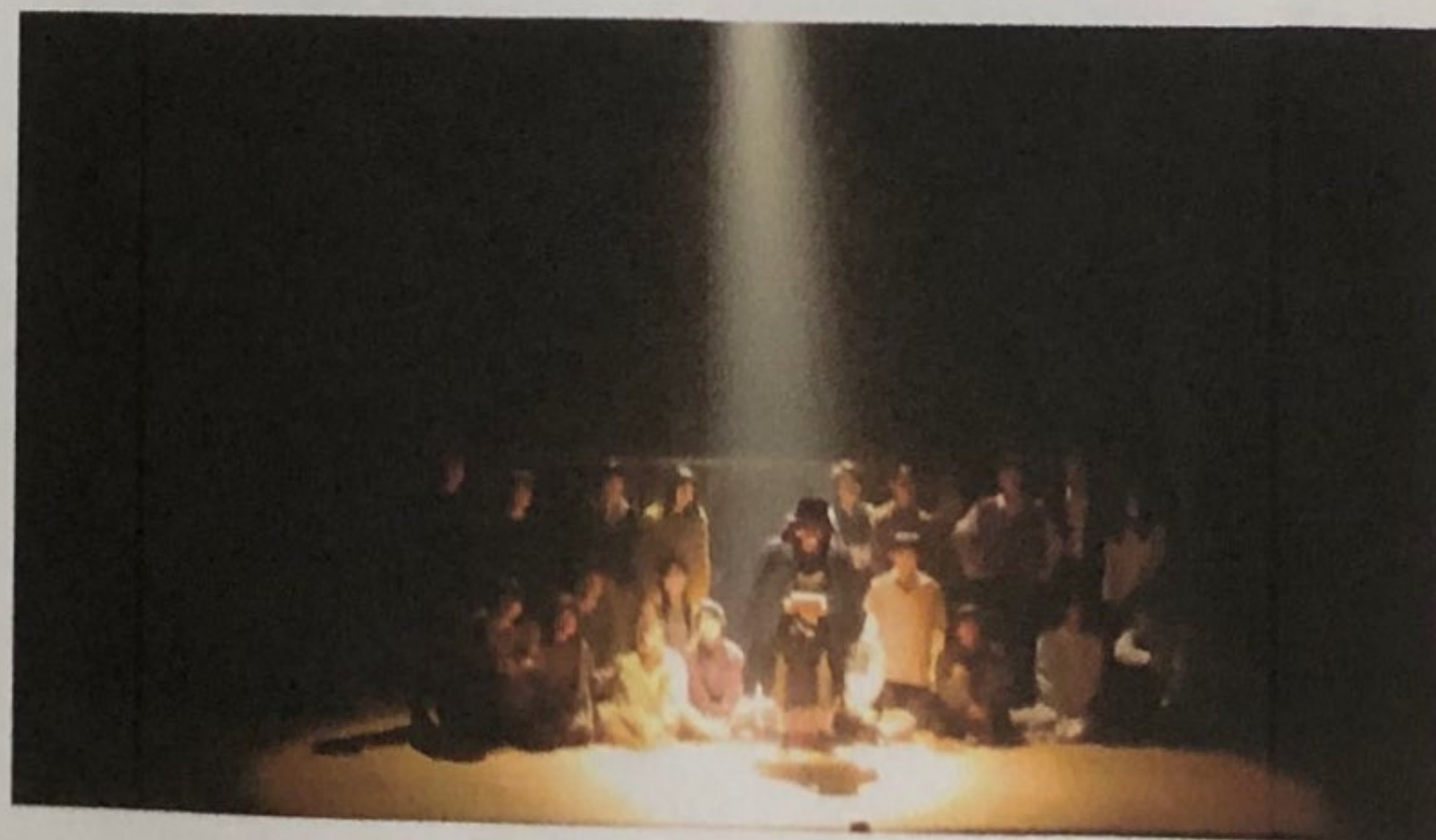
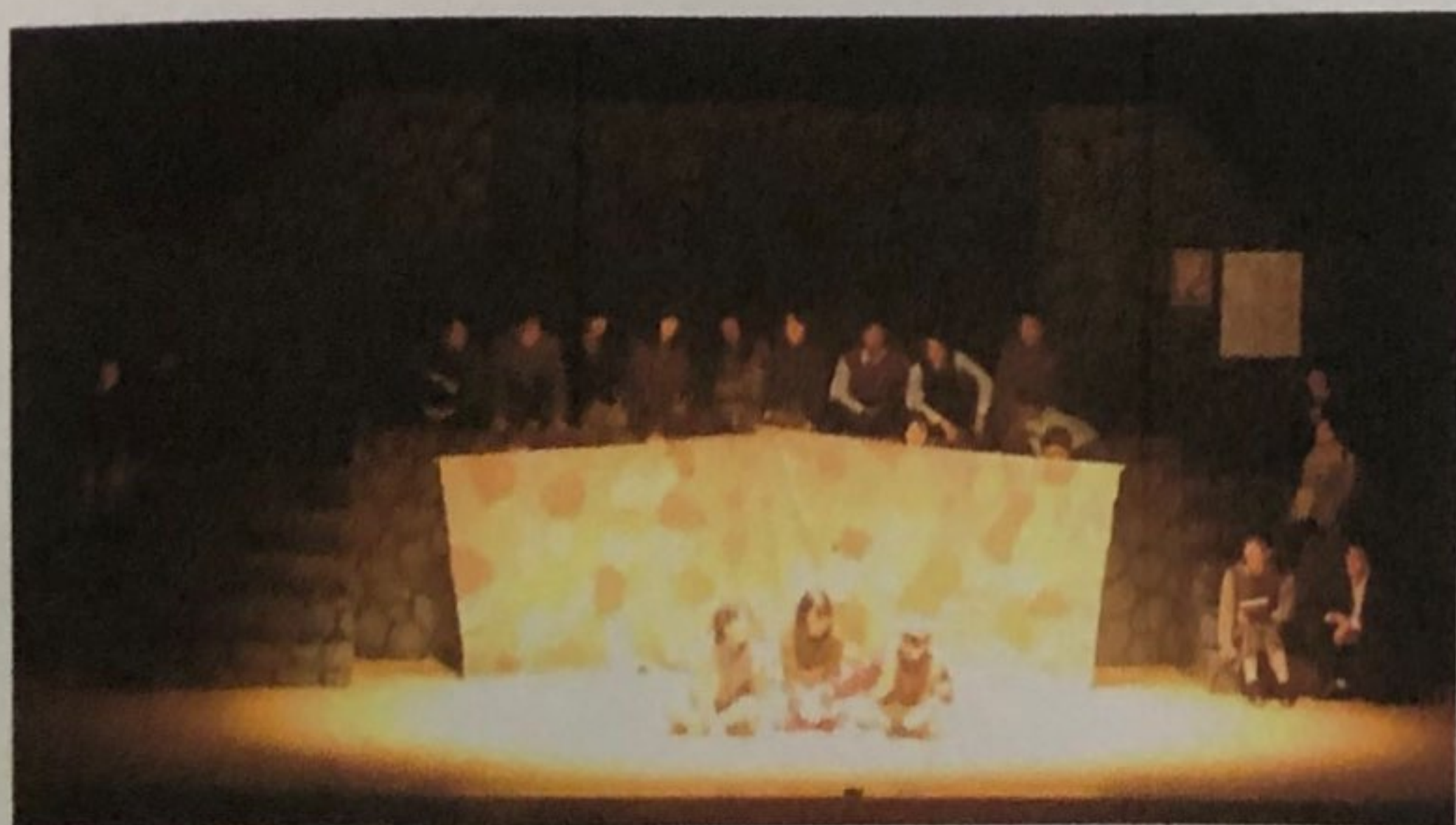
A 全部です。又、誰をどこに配置すると全体が綺麗に見えるのかや、どこが一番注目されるのかななどを考えながら演出をしました。

Q2 とてもはっきりとした綺麗な発声で素敵でした。日頃はどのような発声練習をしていますか？

A 顧問の方の指導のもと、自分たちでいつも【意識】して発声を行っています。トレーニングのおかげで一年生も成長し発声を強くすることができました。

Q3 県大会などから変更した点の中で、特に変更して良かった場所はどこですか？

A 装置です。前はワイナリーを基調としたレンガ造りの壁にしていたのですが、資料を沢山読んで石造りの壁に変更することを決めました。



岐阜各務野高校のみなさん おつかれさまでした！

【速報担当】椿